



発行所
熊本日日新聞社
〒860-8506
熊本市世安町172
代表(096)361-3111
© 熊本日日新聞社 2009

号外

ご購入のお申し込み ☎0120-374625

詳しくは熊本日日新聞
朝刊をご覧ください

小沢代表 辞意

巨額献金事件で引責

民主後任に岡田氏ら浮上

民主党の小沢一郎代表(六六)は十一日、西松建設の巨額献金事件で公設第一秘書が起訴され、党の支持率低下を招いた責任

を取り、代表を辞任する意向を固めた。次期衆院選が近づく中での代表交代は、政権交代実現を目指す民主党にとって打撃

だ。民主党は、小沢氏の辞意表明を受け後任を決める手続きに入るが、混乱が尾を引けば衆院選の行方にも影響が出かねない。

後任には、ともに代表経験者の岡田克也副代表、菅直人代表代行らの名前が挙がっている。



秘書の起訴を受けた記者会見で、涙をぬぐう民主党の小沢代表(11日、東京・永田町の党本部)

二〇〇三年九月、小沢氏が党首を務めていた自由党が民主党と合併。小沢氏は〇六年四月、偽メール問題で引責辞任した前原誠司代表の後任に就任し、〇七年七月の参院選で与野党逆転を実現し求心力を高めた。

その後、当時の福田康夫首相と進めた大連立構想が党内の反対で頓挫し、同十一月いったん辞意表明したが、慰留を受け撤回。党内に不信感が残ったものの、参院選を大勝に導いた手腕への評価は高く、〇八年九月に無投票で二選された。

起訴状では、小沢氏の公設第一秘書の大久保隆規被告(四七)は、〇三年からの四年間に西松建設から計三千五百万円の献金を受け取ったのに、同社OBが代表を務める政治団体からの献金と偽って政治資金収支報告書に記載したとされている。大久保被告は三月三日に東京地検特捜部に逮捕、同二十四日に起訴された。